



主観的判断を含むカテゴリカル・
データの多変量解析

ーコーパス用例分類の信頼性検討と
決定木分析のデモンストレーションー

講演者：木山幸子

麗澤大学大学院
言語教育研究科
博士後期課程

日時：2010年2月13日(土) 13:30-16:50

場所：名古屋大学全学教育棟・北棟406
参加自由，参加費無料

名古屋大学大学院国際言語文化研究科主催
「対話創成力養成プロジェクト」
コーパス研究のためのワークショップ



言語データを収集し，そのデータに対して質的分類を施し，それに基づいて多変量解析を行うまでの過程を詳細に実演します。

13:30-15:00: 色々な評定者間信頼性指標の比較

形式に頼らず，内容の判断に基づいてデータの分類を行う場合，個人の主観による判断の揺れが避けられません。そこで，複数の評定者の間の判断の一致度に基づいて，信頼性を確保する必要があります。前半では，複数の統計的指標 (coefficients of inter-rater reliability) の特性について比較した上で，内容分析 (content analysis) の領域で推奨されている最新のKrippendorff's alphaの算出過程をご紹介します。



15:00-15:20: 休憩



15:20-16:50: 決定木分析のための一連の作業

ある観点で分類を施した質的データについて，その分類結果に影響する複数の要因群の階層性を検討するために，決定木分析 (Decision Tree Analysis) が役立ちます。後半では，決定木分析のためのデータセットの用意の仕方から，SPSS Classification Treesのソフトを使って実際に分析を行うまでの過程をご紹介します。